

住宅建設前に出現したダムの話

5 月 18 日(土)13 時～14 時 30 分
(開場 12 時 30 分)

多摩市立中央図書館2階活動室 1(多摩市落合 2 丁目 35)

一般の方対象

定員 60 人(申し込み不要、当日直接会場へ、参加費無料)

多摩ニュータウン学会のメンバーがリレートークで解説します

共催:多摩市立図書館、多摩ニュータウン学会

問い合わせ先

多摩市立中央図書館(042-373-7955)

多摩ニュータウン学会(nazotoki@tama-nt.org)

街の成り立ちにはさまざまな「わけ」があり、その「わけ」を再発見することが街の再生や新たなまちづくりにも役立つのではないか。「謎解き多摩ニュータウン」はそんな思いを込めて 2006 年から 2012 年にかけて 9 回に分けて、多摩市立図書館と多摩ニュータウン学会が共催(一部は稲城市立図書館も参加)した市民向けの連続講座で、好評を得ました。

このたび中央図書館の開館1年を前に、新シリーズとして「続・謎解き多摩ニュータウン」を企画しました。第1回はニュータウンの建設に伴って一時的に姿を現したたくさんのダムの話です。なぜダムは造られたのか。その後ダムはどうなったのか。図書館が所蔵するニュータウン建設当時の資料などから謎をひも解きます。

